

情報員(1/2)

1 仕事の内容

雑誌やインターネット等、世界中で報道された情報や自衛隊が収集した情報等を分析・評価する等して、日本の防衛や自衛隊の行動に活用する仕事です。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、船務要員として約1年間護衛艦等で勤務し、その後、第2術科学校の海士情報課程(約4ヶ月)を経て、情報員として情報部隊勤務となります。

3 主な勤務地

情報部隊の多くは、東京、横須賀に集中していますが、各地方総監部、艦艇部隊、航空部隊等にも情報員が幅広く配置されています。

4 資格等

将来、語学を身につけてみたいと思っている人、専門の学校で教育を受けることができます。



【監視実習】

(沿岸を航行する船舶の識別を行う訓練です。)



【機上実習】

(P-3C哨戒機に搭乗して船舶の識別、写真撮影などを行います。)



【港内における収集実習】

(港内の状況を調査して、資料を作成します。)

情報員(2/2)

5 その他

「情報の適否は、部隊運営、行動の成果に重大な影響をもたらすばかりでなく、ひいては国家の命運をも左右する。」と言われるほど重要な仕事です。仕事に対する充実感、満足感が得られること受け合いの職種です。

また、写真が好きな人には、航空機や護衛艦に乗って写真を撮影したりする配置もあります。

6 先輩からの一言



私は、何にでも興味を持つタイプなので情報員を希望しました。教育隊修業後、約1年間、岩国の警衛隊で勤務した後、第2術科学校で教育を受け情報員となりました。

修業後は、岩国航空基地で群司令部の情報作業班員として約2年半勤務、その後、EP-3電子戦データ収集機を保有する第81航空隊で勤務しました。

現在は、第2術科学校海曹情報課程で情報員として2回目の教育を受けています。